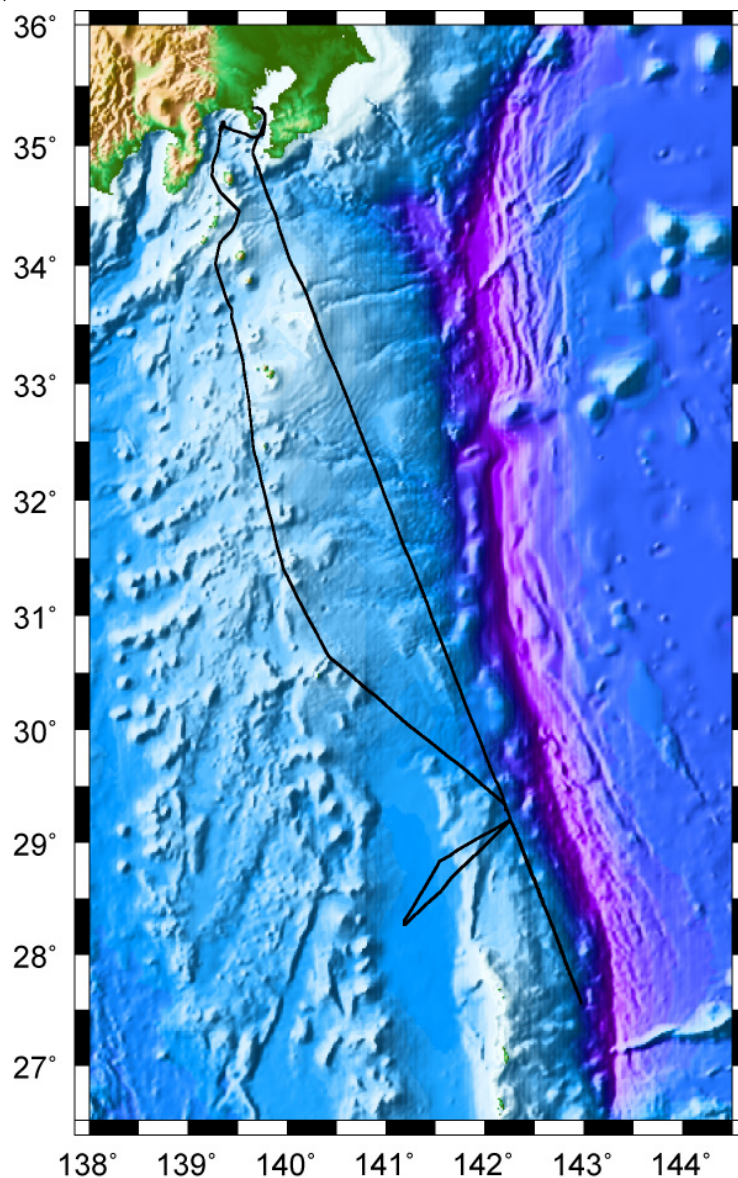


提出日平成 23 年 4 月 18 日

クルーズサマリー

1. 航海関連欄内容：

- (1) 航海番号・使用船舶： KY11-E02・「かいよう」
- (2) 航海名称（実施要領書名）： 平成 22 年度「伊豆小笠原海域における地震探査調査研究」
- (3) 首席研究者・所属機関： 佐藤 壮・海洋研究開発機構
- (4) 課題代表研究者・所属機関： 巽 好幸・海洋研究開発機構
- (5) 課題受付番号・研究課題名： 「伊豆小笠原島弧の地殻進化過程解明 -IODP Project IBM のための構造研究-」
- (6) 航海期間・出港地～寄港地～帰港地：
平成 23 年 3 月 28 日～4 月 5 日・海洋研究開発機構岸壁～海洋研究開発機構岸壁
- (7) 調査海域：伊豆小笠原海域
- (8) 船舶の航跡図：



2. 本文：

(1) 目的：

伊豆小笠原海域において、伊豆小笠原島弧の島弧地殻進化過程を解明するため、地球内部ダイナミクス領域では、平成 16 年度より重点的に調査を実施している。本調査では、父島東方沖の前弧域の詳細な地殻構造の遷移と IODP プロポーザルの掘削候補点周辺部における地殻構造を把握することを目的とする。2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の緊急調査のため、海底地震計 (OBS) の回収前に調査海域を離脱した。そのため、本航海では、KR11-05 航海で回収予定であった海底地震計 (OBS) の回収を行う。

(2) 実施項目：

1) 海底地震計 (OBS) の回収

KR11-05 Leg1 航海において、父島北北東沖に設置した OBS43 台を回収した。

2) 海底地形観測

測線上にて、海底地形を、マルチビーム測深器を用いてそれぞれ取得した。

3) 音速補正のための水温観測

海底地形調査の音速補正用に expendable-Bathy Thermograph (XBT) を実施した。